

がんばる小林くん!

横須賀市議会議員

こばやし

ゆうと

小林 優人



9月定例議会一般質問

今回の一般質問では、ヤングケアラー支援と不登校対策という、子どもの人権に深く関わる課題を取り上げました。いずれも子どもたちの将来に大きな影響を与える重要なテーマです。

ヤングケアラー支援について

ヤングケアラーとは、病気や障がいを抱える家族の世話を日常的に担う子どもたちのことです。私は「子どもがケアラーになる前に支援する、未然防止の仕組みが必要」と訴えました。

市は、行政・学校・地域が連携して子どもの変化を見逃さない体制づくりを進めており、教員が小さな変化に気づいた際は、スクールソーシャルワーカーや児童相談所などへつなげていると説明しました。

また、潜在的なヤングケアラーを把握するための調査や、子ども自身が気づけるような周知の工夫を提案。市は「環境チェックの精度を高める」「教育委員会と連携して周知方法を検討する」と答弁しました。

学校での相談体制については、昼休みなどに相談窓口を設ける提案をしましたが、市は「既存の観察やチェックで対応できている」と回答。ただし、1人1台端末を活用したオンライン相談ツールには前向きな姿勢を示し、子どもが気軽にSOSを出せる仕組みづくりが期待されます。

不登校対策について

不登校の児童生徒は市内で1,200人を超えています。私は県外視察の事例を踏まえ、次の3点を提案しました。

① オンライン授業の活用

他都市のように自宅から授業に参加できる仕組みの導入を求めました。教育長は「既に端末を使ったオンライン参加の事例がある。今後も周知を進める」と答弁。



② 学びの多様化学校の設置

不登校の子どもが安心して通える拠点づくりを提案。教育長は「空間や環境の課題を踏まえ、まずは教育支援センターの機能強化を進める」と述べました。



③ 校務支援システムの活用

支援情報を一元化する仕組みを求めたところ、「プロフィールシートを基盤に情報共有を円滑にする」との回答でした。

※校務支援システムとは：学校の教職員が成績処理、出欠管理、健康診断など、様々な校務を効率化・合理化できるように支援するシステム。

気になる方は「横須賀市議会
会議録」でご検索ください!



地域防災計画検証特別委員会

能登半島地震を踏まえた地域防災計画の見直しが進み、9月10日に開催された特別委員会では以下の内容について質問をしました。

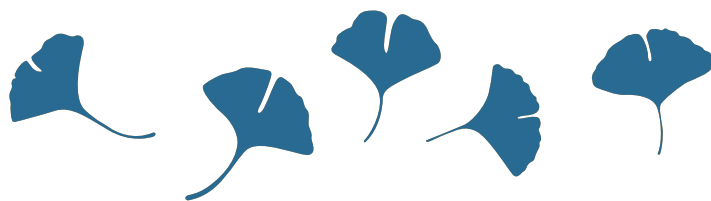
◆震災時に設置される「地域医療救護所」の場所変更について、追浜地区から撤退した理由や、近隣の医療機関との連携体制を確認しました。

◆津波警報が発令された際の市の対応について、避難指示区域の設定基準や、避難所の運営体制、猛暑時の避難環境の課題などを取り上げました。

◆津波の想定区域内にある避難所の現状を指摘し、市民の皆さんが「どこに避難すれば安全なのか」を迷うことのないよう、分かりやすい情報発信や訓練の充実を求めました。



委員会での発言の様子



政策提言2026を提出しました



所属会派・一市民の議員と共に提出

市民の皆さまからの声をもとに、約4か月かけて取りまとめた「政策提言2026」を執行部に提出しました。これから全ての項目について行政側で検討が進められ、来年2月には回答をいただく予定です。今後も本会議や委員会での質疑を重ねて、政策提言の実現に向けて取り組んでまいります。



小林優人 略歴等

生年月日：1988年8月11日

学歴：横須賀市立大津小学校

横須賀市立大津中学校

神奈川県立追浜高等学校

シアトル・セントラル・カレッジ

職歴：株式会社臨海セミナー

GLOCAL LAB

横須賀国際交流協会外国語講座講師

横須賀市人権施策推進会議委員

現在の所属委員会等

総務常任委員会（副委員長）

予算決算常任委員会（総務分科会副委員長）

予算決算常任委員会理事会、地域防災計画検証特別委員会

今後も定期的に「がんばる小林くん！」
を発行いたします。

横須賀市政や横須賀市議会に思うことなど
皆様のお声をお聞かせください！